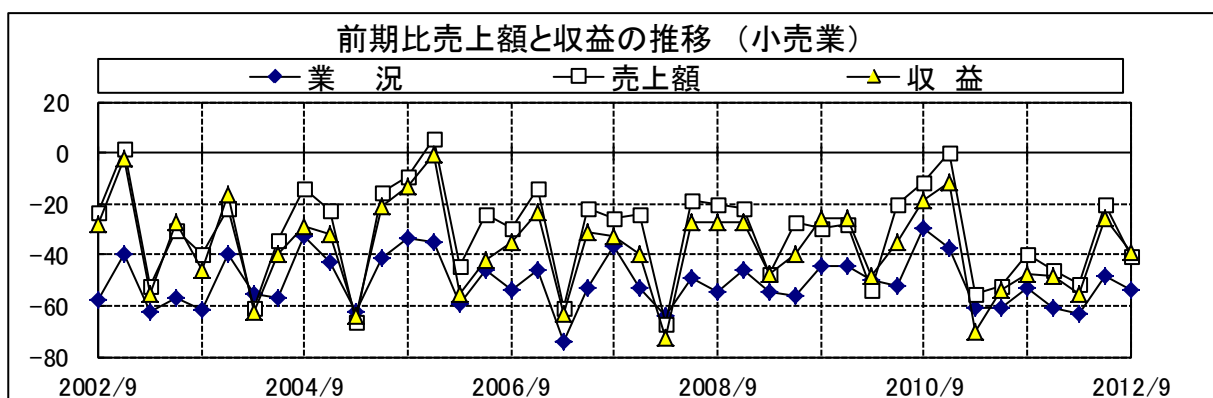


小売業 54 企業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景況

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
業況	-63.0	-48.1	-53.6	-42.6
売上額	-51.7	-20.3	-40.7	-9.2
収益	-55.5	-25.9	-38.9	-9.2

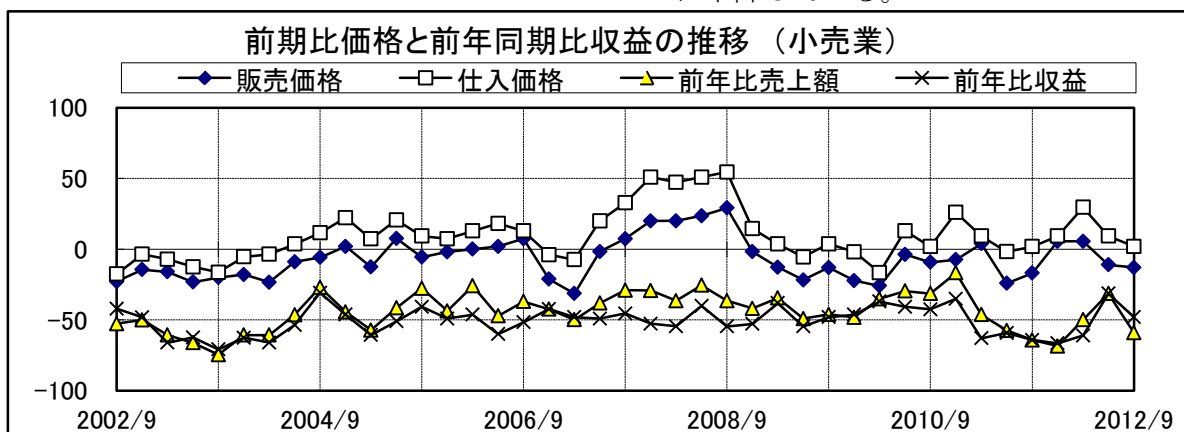
今期の業況判断DIは△53.6と、前期比5.5ポイント下降した。地区別にみると、浦河地区で上昇したが、三石、様似、えりも、広尾地区で下降している。静内地区は横ばいとなっている。売上額判断DIは△40.7と、前期比20.4ポイント下降した。収益判断DIは△38.9と、同比13.0ポイント下降し、収益の低下基調を強めている。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
販売価格	5.6	-11.1	-13.0	5.5
仕入価格	29.6	9.3	1.9	16.6

販売価格判断DI△13.0は、前期比1.9ポイント下降し、価格低下基調を強めた。仕入価格判断はDI1.9と、前期比7.4ポイント下降、価格上昇基調を弱めている。業種別にみると、衣料品、家電品では販売価格は横ばい、仕入価格は下降した。食料品では販売・仕入価格ともに下降している。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
残業時間	-20.4	-11.1	-7.4	3.7
人手状況	-3.7	-3.7	3.7	-13.0

残業時間判断DIは△7.4と、前期比3.7ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断DIは3.7と、マイナス水準からプラス水準となり、人手「過剰」超となった。

□ 設備投資の動き

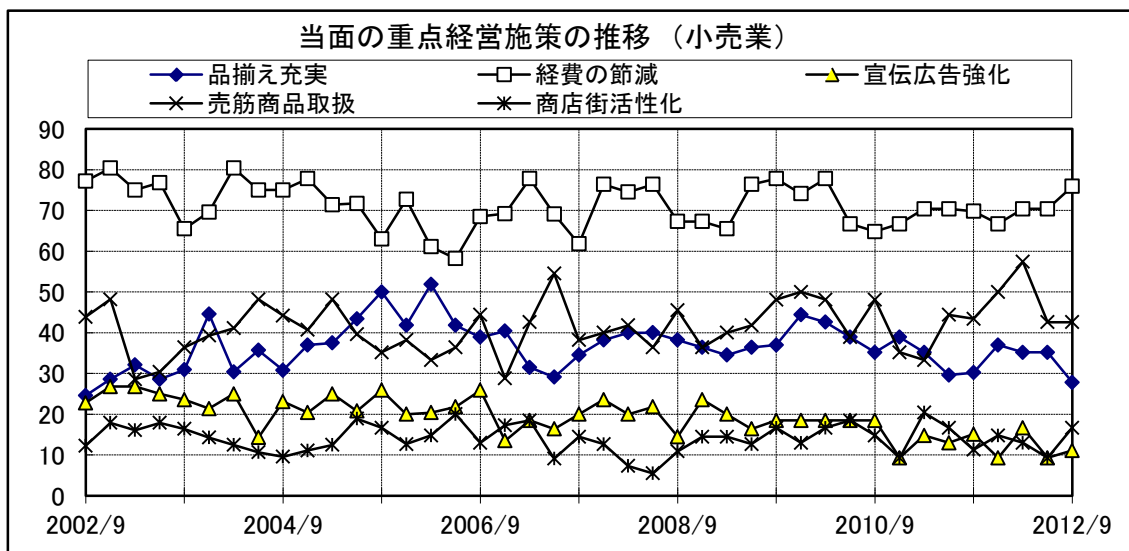
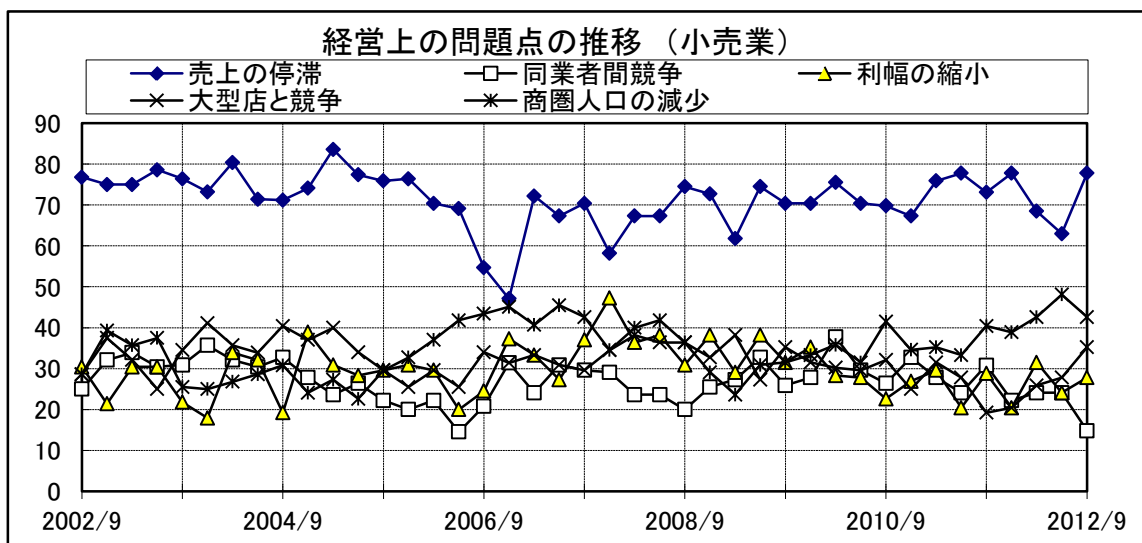
設備投資の充足感を示すD Iは△14.8と、前期と横ばいの値となった。

設備投資実施企業割合は11.1%と、前期9.3%比1.8ポイント上昇、前期の5社に対し6社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ77.8%、次いで「商圈人口の減少」42.6%、「大型店との競争」35.2%、「利幅の縮小」27.8%、「商店街集客力低下」が20.4%の順に続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ75.9%、次いで「売れ筋商品取扱い」42.6%、「品揃えの充実」27.8%、「商店街の活性化をする」16.7%の順となっている。



□ 来期の見通し

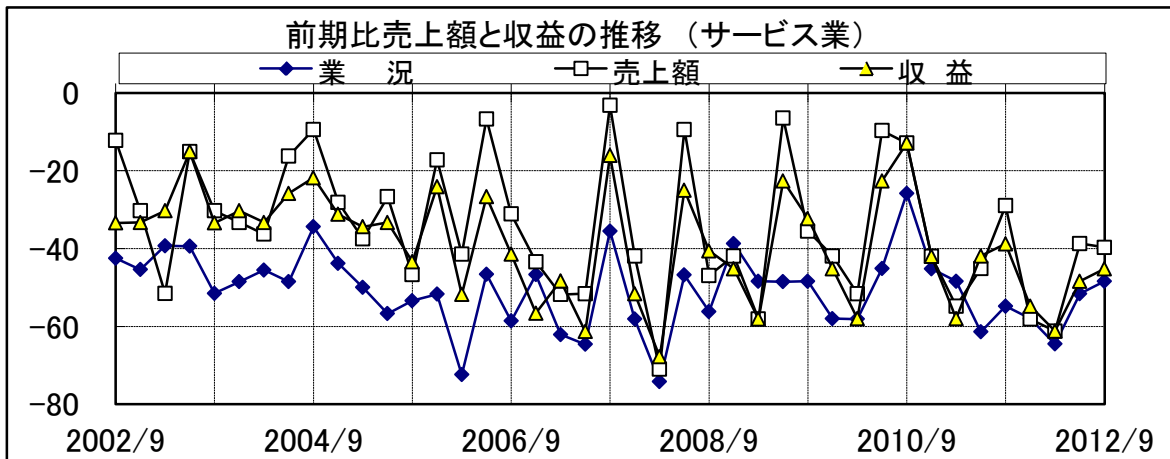
来期の予想業況判断D Iは△42.6と、今期△53.6から11.0ポイントの上昇を見通している。予想売上額判断D Iは△9.2と、今期△40.7から31.5ポイントの大幅な上昇を見通している。予想収益判断D Iは△9.2と、今期△38.9から29.7ポイントの上昇を見通している。予想販売価格判断D Iは5.5と、今期△13.0から18.5ポイントの上昇を見通し、予想仕入価格判断D Iは16.6と、今期1.9から14.7ポイントの上昇を見通し、販売、仕入ともに価格の上昇基調としている。

サービス業 31 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
業 況	-64.5	-51.6	-48.4	-51.6
売上額	-61.2	-38.7	-38.7	-61.3
収 益	-61.2	-48.4	-45.2	-58.1

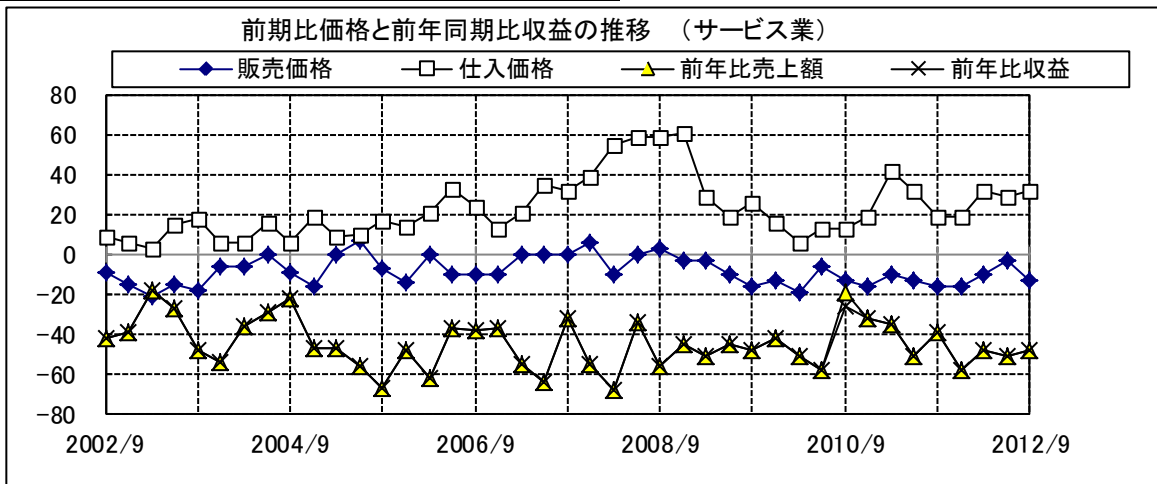
今期の業況判断DIは△48.4と、前期比3.2ポイントの上昇となった。地区別にみると、静内、三石、様似、えりも地区が下降し、浦河、地区で上昇している。広尾地区は横ばい。
売上額判断DIは△38.7で、前期横ばいの値となった。また、収益判断DIは△45.2と、同比3.2ポイント上昇した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
料金価格	-9.7	-3.2	-12.9	-16.1
材料価格	32.3	29.1	32.3	9.7

料金価格判断はDI△12.9と、前期比9.7ポイント下降、価格低下基調を強めている。材料価格判断DIは32.3と、前期比3.2ポイント上昇し、価格上昇基調を強めている。業種別にみると旅館・洗濯理美容業は、料金・材料価格ともに下降。自動車整備業では料金価格は下降、材料価格は上昇している。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期実績	10～12月 期見通し
残業時間	-35.5	-25.8	-29.1	-29.1
人手状況	9.6	-16.2	-3.3	-3.2

残業時間判断DIは△29.1と、前期比3.3ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。
人手過不足判断DIは△3.3と、前期比12.9ポイント上昇し、人手不足感を弱めている。

□ 設備投資の動き

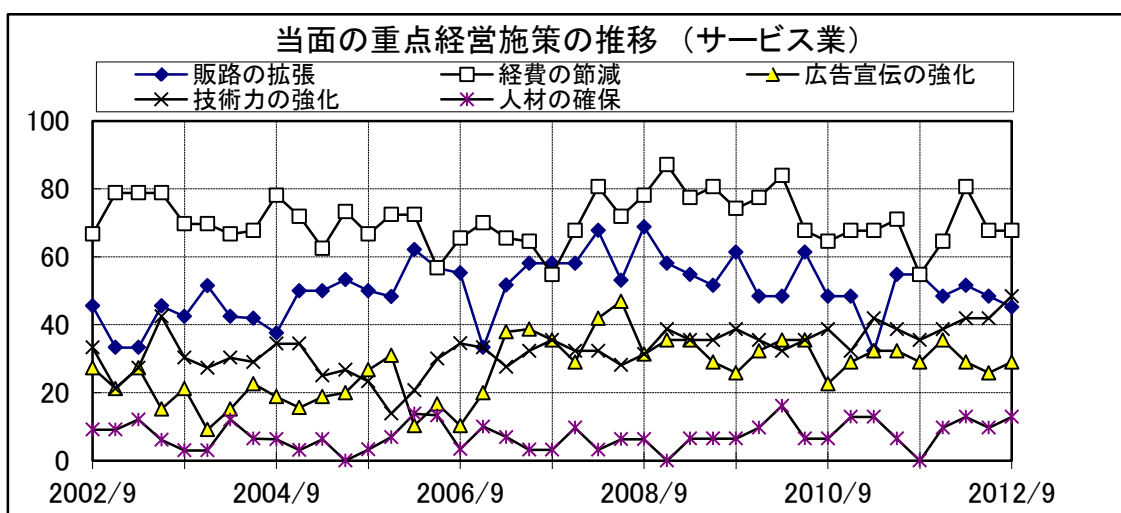
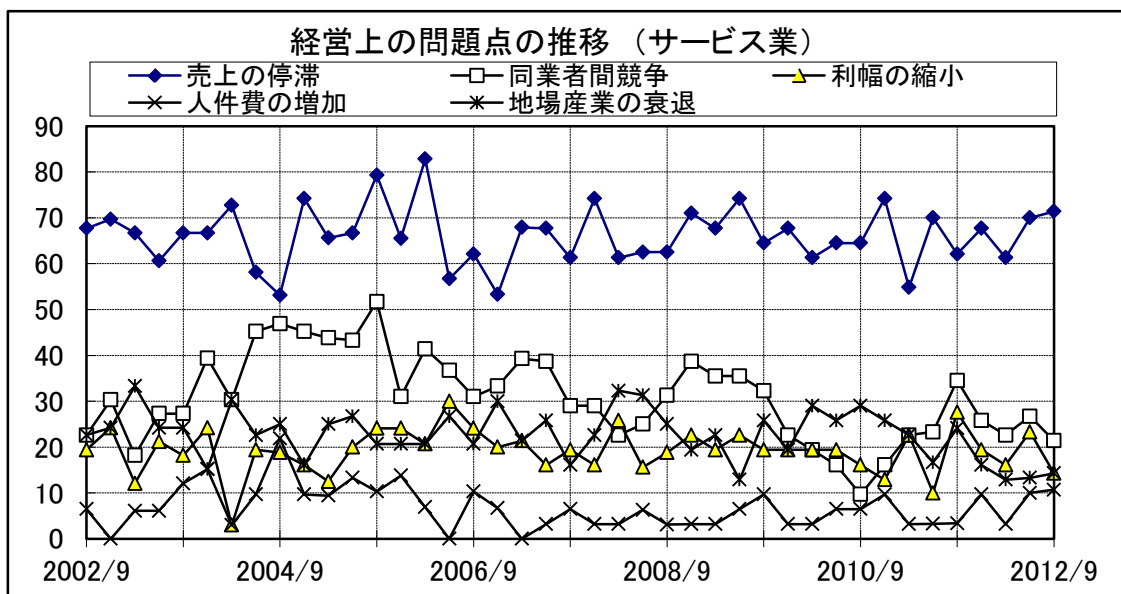
設備投資の充足感を示すD Iは△22.5と、前期△19.3から3.2ポイント下降し不足感を強めている。

設備投資実施企業割合は25.8%と、前期と同数の8社の実施となった。来期の設備投資は、5社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」をトップに挙げ71.4%、次いで「商圏人口の減少」53.6%、「取引先の減少」28.6%、「同業者との競争」、「料金値下げの要請」が同値の21.4%で続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ67.7%、次いで「技術力を強化」48.4%、「販路を拡張」45.2%、「宣伝広告の強化」29.0%の順となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△51.6と、今期△48.4から3.2ポイントの下降を見通している。予想売上額判断D Iは△61.3と、今期△38.7から22.6ポイントの下降を見通している。予想収益判断D Iは△58.1と、今期△45.2から12.9ポイントの下降を見通している。予想料金価格判断D Iも△16.1と、今期△12.9から3.2ポイント下降し、価格低下基調が強まる見通しとなっている。一方、予想材料価格判断D I 9.7は、今期32.3から22.6ポイント下降し、価格上昇基調が弱まる見通しとなっている。